

# 突然襲う土砂災害

命を守るには「日ごろの準備」と早めの避難  
土砂災害危険箇所や避難場所を確認しておきましょう！

## 土砂災害危険箇所図

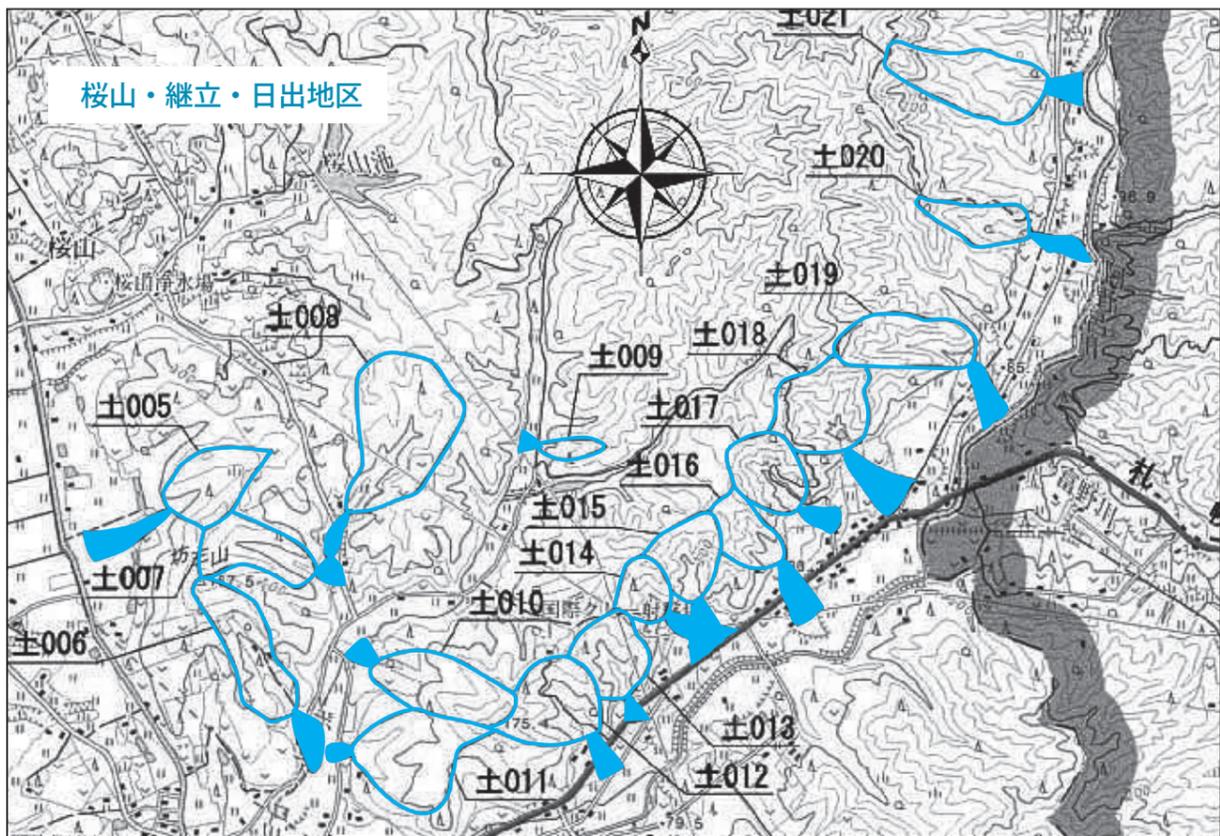
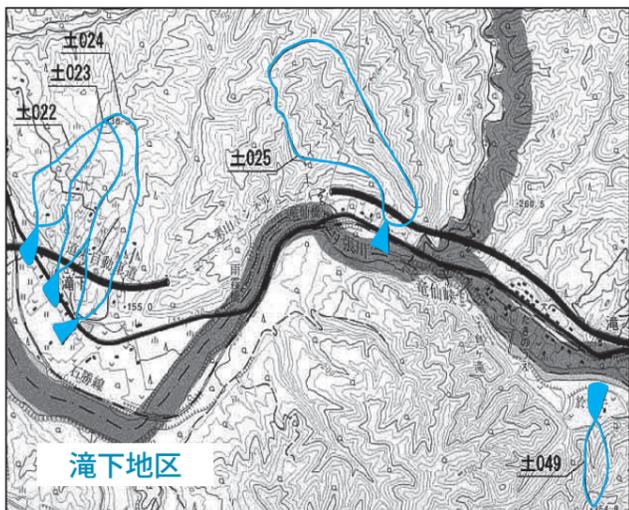
土砂災害危険箇所図は、空知総合振興局札幌建設管理部が地域にお住まいの方の土砂災害（土石流・崖崩れなど）に対する意識の高揚を目的に「土砂災害による被害のおそれがある箇所」を示した図面です。

日ごろより土砂災害への備えとして、お近くの土砂災害危険箇所や避難場所を確認していただき、いざという時には、早めの避難を心がけてください。

※「被害のおそれがある箇所」は法に基づいたものではなく、詳細な現地調査や分析を行っていないため、図面に示されている危険区域はあくまで災害に備えるうえでの参考としていただくものです。

## 栗山町の土砂災害危険箇所図

凡例	土石流危険渓流 流域 氾濫区域	急傾斜地崩壊危険箇所	市町村界
----	-----------------------	------------	------



## 町内の土砂災害危険箇所数

栗山町内には、平成26年9月現在で、40箇所の危険な場所があります。

行政区	崖崩れ	土石流	地滑り	合計
桜丘1丁目	3	1	0	4
桜丘2丁目	2	0	0	2
桜丘3丁目	1	6	0	7
湯地	0	4	0	4
雨煙別	0	2	0	2
桜山	0	3	0	3
継立	0	4	0	4
日出	0	10	0	10
滝下	0	4	0	4
合計	6	34	0	40

## 避難のときには？

■雨の降り方や強さに注意  
土砂災害の多くは雨から起こります。大雨警報（土砂災害）などが発表されたら十分な注意が必要です。

### 逃げ方を覚える

- ①避難する際は、土石流危険区域内の通過は避けましょう。
- ②土石流に関しては、渓流に對してできるだけ直角方向に逃げましょう。
- ③渓流を渡って対岸に避難することは避けましょう。

### 町は避難勧告を発令

栗山町では、大雨などによる土砂災害が予想される場合に速やかに避難勧告などを発表する必要がありますことから、「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」（土砂災害編）を策定しています。

避難勧告などの発令判断は、北海道などが発表する情報により判断します。

### 情報はどこから？

避難勧告などの情報伝達方法は複数の方法を活用しています。

情報伝達手段	伝達先
北海道防災情報システムへの入力（情報提供）	TV放送 視聴者 ラジオ放送 聴取者 緊急速報メール 町内に滞在する対応携帯電話保持者
ホームページ	インターネット利用者
ツイッター	インターネット利用者
広報車	住民など
電話や電子メール	消防団
電話やFAX	要配慮施設、町内会、自主防災組織、避難支援関係者
電話	空知総合振興局、札幌地方管区气象台、栗山警察署

### 避難所の場所は？

栗山町が避難勧告を発令した場合は、カルチャープラザ「Eki」、栗山中学校、北海道介護福祉学校、南部公民館、継立小学校、円山地域文化センターなどの避難所を開設します。土砂災害危険箇所内の通過を避けて早めに避難を開始してください。

### ホームページを活用

災害時の情報収集には、関係機関のホームページを活用すると便利です。携帯やタブレット型端末からも検索できます。

栗山町ホームページ	<a href="http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/">http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/</a>
空知総合振興局建設管理部	<a href="http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/skk/prevent/22_map.htm">http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/skk/prevent/22_map.htm</a>
北海道防災情報システム	<a href="http://www.bousai-hokkaido.jp/">http://www.bousai-hokkaido.jp/</a>
北海道土砂災害警戒システム	<a href="http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/">http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/</a>
気象庁ホームページ	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/">http://www.jma.go.jp/jma/</a>
栗山町の避難所	<a href="http://crisis.yahoo.co.jp/shelter/list/01/01429/">http://crisis.yahoo.co.jp/shelter/list/01/01429/</a>

### 問い合わせ

町総務課  
広報・防災・情報グループ  
☎7501

# 知っておきたいまちの予算

よさん

## 栗山町の予算と財政状況

### 決算 平成25年度 まちのお金の使い方

平成25年度の各会計決算が、9月の町議会定例会で認定されました。  
町民の皆さんから納めていただいた税金などがどのように使われたのか、そのあらましを今月号から3回に分けて掲載します。

越前になります。  
前年度と比較し、歳入は9億8,585万円(12.7%)の増、歳出は10億3,819万円(13.6%)の増となりました。

#### ◆一般会計決算

一般会計の歳入総額は87億5,720万円、歳出総額は86億5,346万円となり、差額1億3,374万円を次年度に繰り越しました。  
なお、この繰越額1億3,374万円の中には、次年度に繰り越して実施する事業の財源1,608万円を含んでいることから、この財源を除いた87億6,6万円が実質的な繰

#### ◆特別会計決算

4つの特別会計の歳入総額は35億3,269万円、歳出総額は33億9,203万円となり、差額1億4,066万円をそれぞれ次年度の各特別会計に繰り越しました。  
前年度と比較し、歳入は40億3,300万円(1.2%)の増、歳出は19億0,000万円(0.1%)の減となりました。



#### 【一般会計とは?】

福祉サービスや健康づくり、子育て支援、教育の充実、ごみの処理、道路整備など町民生活全般に関わる行政サービスを行うための予算です。

#### 【特別会計とは?】

保険料や使用料などの特定の収入をもとに事業を運営するための予算です。  
国民健康保険や介護保険も、この予算をもとに運営されています。

【問い合わせ】  
町経営企画課  
行政経営グループ  
☎7503

## 知っておきたいまちの予算

項目	金額	構成比
町税	12億9,675万円	14.8%
使用料・手数料	1億8,802万円	2.2%
分担金・負担金	1億6,750万円	1.9%
繰越金	1億5,608万円	1.8%
繰入金	1億3,813万円	1.6%
諸収入など	2億3,853万円	2.7%
合計	21億8,501万円	25.0%

歳入全体の構成は、町税や使用料・手数料など、町が独自に確保している自主財源の割合が25.0%、国や道からの配分、交付される依存財源の割合が75.0%と、歳入の7割以上を国や道に依存している構造となっています。

### 歳入の7割以上が 国や道への依存

## 歳入

### 一般会計決算

87億5,720万円

項目	金額	構成比
地方交付税	33億1,302万円	37.8%
町債	11億2,400万円	12.8%
国庫支出金	9億5,327万円	10.9%
道支出金	8億9,904万円	10.3%
地方譲与税など	2億8,286万円	3.2%
合計	65億7,219万円	75.0%

自主財源の柱である町税は12億9,675万円、町民税や固定資産税の増などにより、前年度と比較して3億1,377万円(2.5%)の増となりました。町民1人当たりでは、10万1千円(前年度9万7千円)の町税を負担していることとなります。

### 農林水産業費が大幅に増加



歳出全体の構成では、総務費が22.0%と最も多く、次に民生費が17.1%、公債費が15.9%の順となりました。前年度と比較し、大きく増加したのは農林水産業費で、米乾燥調製貯蔵施設増設事業費などの増により5億2,227万円(74.2%)の増となりました。  
また、町の借入金の償還となる公債費は、償還の終了などに伴い、7,383万円(5.1%)の減となりました。  
町民1人当たりでは、67万7千円(前年度58万5千円)の経費を負担していることとなります。

## 歳出(目的別)

86億5,346万円

項目	内容	金額	構成比
総務費	公共施設の管理や職員給与などに	19億4,244万円	22.0%
民生費	児童、高齢者、障がい者福祉などに	14億7,893万円	17.1%
公債費	町債(借入金)の返済などに	13億7,314万円	15.9%
農林水産業費	農林業の振興、生産基盤の整備などに	12億2,643万円	14.2%
土木費	道路や河川、公営住宅の整備などに	10億1,525万円	11.7%
教育費	学校教育、文化・スポーツ振興などに	5億7,241万円	6.6%
衛生費	地域医療の確保やごみ処理対策などに	4億7,074万円	5.4%
消防費	消防、救急活動などに	3億4,856万円	4.0%
商工費	商工業、観光の振興などに	1億7,256万円	2.0%
議会費	議員報酬・手当、議会活動などに	6,513万円	0.8%
その他	労働費(労働者支援のための経費) 諸支出金、災害復旧費	2,607万円	0.3%
合計		86億5,346万円	100.0%

## 平成25年度 一般会計・特別会計歳入・歳出決算額

会計区分	歳入	歳出	差引	増減率	
				歳入	歳出
一般会計	87億5,720万円 (77億7,135万円)	86億5,346万円 (76億1,527万円)	1億3,374万円 (1億5,608万円)	12.7%	13.6%
特別会計	35億3,269万円 (34億9,236万円)	33億9,203万円 (33億9,393万円)	1億4,066万円 (9,843万円)	1.2%	▲0.1%
国民健康保険	19億8,754万円	18億6,914万円	1億1,840万円	2.8%	1.1%
北海道介護福祉学校	1億4,039万円	1億3,825万円	214万円	2.0%	2.7%
介護保険	12億2,415万円	12億417万円	1,998万円	▲1.3%	▲2.1%
後期高齢者医療	1億8,061万円	1億8,047万円	14万円	▲0.4%	▲0.4%
合計	122億8,989万円 (112億6,371万円)	120億4,549万円 (110億920万円)	2億4,440万円 (2億5,451万円)	9.1%	9.4%

( ) 内は平成24年度の決算額

# 企業会計決算

※民間企業と同様の経理方法により運営

## ◆水道事業会計

①収益的収支（川の水を浄化・供給するための会計）

区分	内容	金額
収入	水道料金など	3億 8,601万円
	一般会計からの補助金など (合計)	385万円 <b>3億 8,986万円</b>
支出	原水・配水処理費用など	2億 7,924万円
	企業債利息返済など (合計)	8,619万円 <b>3億 6,543万円</b>
収入支出差引額		<b>2,443万円</b>

②資本的収支（水道施設を整備するための会計）

区分	内容	金額
収入	工事に伴う負担金	446万円
	一般会計からの出資金 (合計)	733万円 <b>1,179万円</b>
支出	浄水場の整備など	2億 23万円
	企業債元金返済など (合計)	2億 534万円 <b>4億 557万円</b>
収入支出差引額		<b>▲3億 9,378万円</b>

## ◆下水道事業会計

①収益的収支（汚水を処理するための会計）

区分	内容	金額
収入	下水道料金など	2億 1,724万円
	一般会計からの負担金など (合計)	3億 2,658万円 <b>5億 4,382万円</b>
支出	処理場維持管理費など	5億 6,427万円
	企業債利息返済など (合計)	1億 577万円 <b>6億 7,004万円</b>
収入支出差引額		<b>▲1億 2,622万円</b>

②資本的収支（下水道施設を整備するための会計）

区分	内容	金額
収入	金融機関からの借入	1億 9,370万円
	国からの補助金など (合計)	294万円 <b>1億 9,664万円</b>
支出	施設の整備など	974万円
	企業債元金返済など (合計)	4億 8,573万円 <b>4億 9,547万円</b>
収入支出差引額		<b>▲2億 9,883万円</b>

※不足額については「そんえきかんじょうりゆうほしきん損益勘定留保資金」により補てんしています。

### 【損益勘定留保資金とは？】

収益的収支のうち、現金の支出が実際には行われず計数のみが帳簿上に計上される費用で、主なものとして「げんかしょうやくひ減価償却費」があげられます。収支に不足が生じた場合の補てん財源として使用されています。

### 【減価償却費とは？】

固定資産の取得に要した費用を、一定期間に振り分けて費用化（支出）したものです。



【任期：平成26年7月～平成27年3月】

一般公募	中学校・高校推薦
清水 滋子さん (桜丘1)	濱谷 瑞希さん (栗山中)
串下 亮介さん (中央4)	仁木 萌愛さん (栗山中)
角田 伸慶さん (桜丘2)	折口 琴音さん (栗山中)
前田 真里さん (中央3)	井上 大輔さん (栗山高)
	川瀬 萌蘭さん (栗山高)

平成26年度  
**財政モニター**

町は広報誌やホームページを中心に予算や決算など、町の財政に関わる情報を町民の皆さんにわかりやすく提供するため、平成24年度より「財政モニター制度」を導入しています。今年度も、一般公募による4人の方と、中学校・高校からの学校推薦による5人の学生の方をモニターとして委嘱しました。

モニターの皆さんからのご意見などをもとに、よりわかりやすく、タイムリーな情報発信に努めていきます。

# 特別会計決算

## 国民健康保険特別会計

歳入	国民健康保険税	4億 2,892万円
	国庫・道支出金など	13億 968万円
	繰越金など	8,832万円
	一般会計からの繰入金 (合計)	1億 6,062万円 <b>19億 8,754万円</b>
歳出	保険給付費	13億 413万円
	後期高齢者支援金など	4億 9,752万円
	総務費など (合計)	6,749万円 <b>18億 6,914万円</b>

高齢化率の上昇に伴う医療費の増加など、決算額も年々増加傾向にあります。

主な歳出となる保険給付費は、13億413万円(構成比69・8%)で、前年度と比較し、3810万円の増となりました。

平成25年度の保険加入状況は、年間平均で一般被保険者3760人、退職被保険者247人となりました。被保険者1人当たりでは、一般分で約32万円、退職分で約40万円の医療費を給付していることになりました。

## 北海道介護福祉学校特別会計

歳入	入学料・授業料など	8,079万円
	道支出金	1,360万円
	繰越金など	304万円
	町債 一般会計からの繰入金 (合計)	100万円 4,196万円 <b>1億 4,039万円</b>
歳出	学校管理・運営費	1億 2,539万円
	学生寮管理費	802万円
	学校周辺整備費	480万円
	公債費 (合計)	4万円 <b>1億 3,825万円</b>

平成25年4月の学生総数は133名(定員160名)で、前年度と同じ生徒数となりました。

主な歳出では、教員の給与や校舎管理などの学校管理・運営費として1億2539万円、学校周辺整備費として駐車場整備工事費用480万円の支出を学

生からの納付金のほか、一般会計からの繰入金などにより補てんしました。



## 介護保険特別会計

歳入	介護保険料	2億 3,597万円
	国庫・道支出金など	8億 1,293万円
	繰越金など 一般会計からの繰入金 (合計)	1,834万円 1億 5,691万円 <b>12億 2,415万円</b>
歳出	保険給付費	11億 3,634万円
	総務費など (合計)	6,783万円 <b>12億 417万円</b>

運動教室の開催や生きがいづくり事業など、介護予防サービスの強化・充実を図りました。

主な歳出となる保険給付費は、11億3634万円(構成比94・4%)で、前年度と比較し、2913万円の減となりました。

平成25年度末の被保険者(65歳以上)は、4462人で、要支援・要介護認定者727人のうち、609人が介護サービスを利用しました。サービス利用者1人当たりでは、約187万円を給付していることとなります。

## 後期高齢者医療特別会計

歳入	後期高齢者医療保険料	1億 3,057万円
	繰越金など 一般会計からの繰入金 (合計)	26万円 4,978万円 <b>1億 8,061万円</b>
歳出	広域連合納付金(保険料)	1億 3,045万円
	広域連合納付金(その他)	4,844万円
	総務費など (合計)	158万円 <b>1億 8,047万円</b>

被保険者が安心して医療を受けられるよう、広域連合が主体となって制度運営しています。

主な歳出となる北海道後期高齢者医療広域連合への納付金は、1億7889万円(構成比99・1%)で、前年度と比較し、156万円の増となりました。被保険者からの保険料のほか、低所得者に対する保険料軽減分、広域連合運営費分として納付しています。

平成25年度末の被保険者(75歳以上および65歳以上で一定の障がいがある方)は、年間平均で2427人となり、前年度から16人の増となりました。